

【「命のコンテナプロジェクト」群馬モデル（第2弾）】 県有施設へのチャージスポット設置拡大中！！

群馬県では、「命のコンテナプロジェクト」群馬モデル第2弾として、災害発生時にスマートフォン等のモバイル機器への充電サービスを提供する協定を株式会社INFORICH及び一般財団法人日本総合研究所（医療・防災産業創生協議会）と令和7年5月20日に締結しました。

この協定に基づき、チャージスポットを設置する県有施設が拡大しておりますので、お知らせします。

「命のコンテナプロジェクト」群馬モデルとは

民間事業者と群馬県が連携し、
平時は事業活動に運用しつつ、
有事には機動的に被災地へ送り込むことができる
設備やサービスの実現を目指す取組です。



1 チャージスポット設置（予定）施設

◇ 5月20日設置

群馬県庁	1階 西側エントランス
	31階 GINGHAM
Gメッセ群馬	2階 エントランスロビー

◇ 10月23日設置

New!

群馬県立小児医療センター	1階 正面玄関前
--------------	----------

◇ 11月27日設置予定

New!

ぐんまフラワーパークプラス メインゲート・ノースゲート・ミナモテラス



群馬県立小児医療センター

2 協定の概要

県有施設にチャージスポットを設け、平時は有料の充電サービスとして運用し、災害時には充電サービスの無料開放や、必要に応じて避難所等へモバイルバッテリーを配備して電源需要に対応します（詳細は別紙のとおり）。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



連携スキーム

県施設



- 県施設にチャージスポットを設置
- 施設来場者の利便性向上
- サイネージで県政情報も発信

平常時

ポイント

- 災害が発生すると「充電」・「バッテリー」というSNS投稿が急増
→ 災害時に需要が高い
- 県内発災と県外発災の両方に対応

群馬県独自

- 県施設の充電端末を無料開放
- サイネージで災害情報を発信

県施設



Free



インフォリッチ社



避難所

災害時